

平成24年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年10月5日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ティムコ

コード番号 7501 URL <http://www.tiemco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 酒井 誠一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長

(氏名) 中山 芳忠

TEL 03-5600-0122

四半期報告書提出予定日 平成24年10月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年11月期第3四半期の業績(平成23年12月1日～平成24年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
24年11月期第3四半期	2,087	3.7	△3	—	4	△78.5	△26	—
23年11月期第3四半期	2,013	△1.2	10	△27.2	18	△36.2	△14	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年11月期第3四半期	△9.27	—
23年11月期第3四半期	△5.09	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
24年11月期第3四半期	7,737	6,747	87.2	2,392.87
23年11月期	7,691	6,821	88.7	2,419.12

(参考) 自己資本 24年11月期第3四半期 6,747百万円 23年11月期 6,821百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年11月期	—	0.00	—	17.50	17.50
24年11月期	—	0.00	—	—	—
24年11月期(予想)	—	—	—	17.50	17.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年11月期の業績予想(平成23年12月1日～平成24年11月30日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	2,824	4.5	44	152.9	48	77.8	10	—	3.55

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年11月期3Q	3,339,995 株	23年11月期	3,339,995 株
24年11月期3Q	520,091 株	23年11月期	520,091 株
24年11月期3Q	2,819,904 株	23年11月期3Q	2,819,904 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したもので、実際の業績は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績見通し等に関する事項は、【添付資料】P3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(6) 重要な後発事象	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間(自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)における日本経済は、欧州の債務問題や円高の進行による影響等により、企業を取り巻く環境は厳しい状況が続いたものの、生活関連需要が底固い推移を示すなど、消費マインドに回復の兆しがみられました。

一方、当社の関連するアウトドア関連産業では、ラニーニャ現象による厳冬に引き続き、春先まで続いた気温の低下や夏の猛暑、さらには豪雨の影響など天候の乱れる地域もみられ、これらに景況が左右される展開となりました。

こうした状況の中、当社では収益内容の改善に取り組むべく積極的な営業活動を行ってまいりました。その結果、当第3四半期の売上高は20億87百万円(前年同期比3.7%増)となりました。

一方、取扱商品の価格低下や在庫品の処分売り等により売上総利益率が低下したほか、直営店の新規出店や販売促進に関わる費用等を中心に、販売費及び一般管理費が前年に比べ増加したことにより、営業損失は3百万円(前年同期間 営業利益10百万円)、経常利益は4百万円(前年同期比78.5%減)となりました。

なお、税率変更等による繰延税金資産の取崩しの影響を受け、四半期純損失は26百万円(前年同期間 四半期純損失14百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

(フィッシング事業)

フィッシング事業に関しては、既述の天候要因のほか、一部地域における放射線の風評被害や釣場の解禁制限等により、取引先小売店の販売が影響を受けるかたちとなりました。このような状況の中、フライ(毛鉤)用品やサイトマスター(偏光サングラス)の販売が堅調に推移したものの、フィッシングロッド(釣竿)やルアー(擬似餌)の一部商品に入荷遅延が発生したこと等が影響し、フィッシング事業の営業成績は概して低調な結果となりました。

これにより、フィッシング事業の売上高は8億52百万円(前年同期比3.5%減)、セグメント利益(営業利益)は1億62百万円(前年同期比12.6%減)となりました。

(アウトドア事業)

アウトドア事業に関しては、冬季の気温低下等の影響により、男性衣料、女性衣料ともに冬物衣料を中心とした販売が堅調に推移いたしました。また、7月ならびに8月に、栃木県内にアウトレット店を2拠点オープンし、在庫効率向上と売上の底上げに注力いたしました。

その結果、アウトドア事業の売上高は12億26百万円(前年同期比9.3%増)、セグメント利益(営業利益)は52百万円(前年同期比28.1%増)となりました。

(その他)

その他の主な内容は、損害保険代理業の手数料収入ならびに不動産賃貸収入売上であります。当第3四半期累計期間に関しては、不動産賃貸収入の減少により、その他売上高は8百万円(前年同期比5.0%減)となりました。また、セグメント利益(営業利益)は5百万円(前年同期比3.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べ45百万円増加し77億37百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金の減少1億31百万円や有価証券の満期償還による減少2億円の一方、季節的な要因による商品棚卸高の増加1億89百万円などにより、前事業年度末に比べ1億38百万円減少し、42億13百万円となりました。

固定資産は、投資有価証券の取得による2億円の増加などにより、前事業年度末に比べ1億84百万円増加し35億23百万円となりました。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ1億19百万円増加し9億90百万円となりました。

流動負債は、仕入れが集中する季節的な影響による支払手形及び買掛金の増加1億41百万円などにより、前事業年度末に比べ1億16百万円増加し7億73百万円となりました。

固定負債は、前事業年度末とほぼ同額の2億16百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ74百万円減少し67億47百万円となりました。これは主に、四半期純損失26百万円の発生や、前事業年度決算の配当支出49百万円などによるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成24年1月19日発表の「平成23年11月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」に記載の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年11月30日)	当第3四半期会計期間 (平成24年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,551,437	1,419,489
受取手形及び売掛金	484,426	505,909
有価証券	1,314,003	1,113,979
商品及び製品	911,595	1,100,724
その他	92,409	75,260
貸倒引当金	△1,453	△1,518
流動資産合計	4,352,419	4,213,845
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	803,830	800,211
土地	2,011,097	2,011,097
その他（純額）	28,790	25,817
有形固定資産合計	2,843,718	2,837,125
無形固定資産	49,391	36,477
投資その他の資産	446,229	650,280
固定資産合計	3,339,340	3,523,883
資産合計	7,691,760	7,737,728
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	489,432	631,381
未払法人税等	12,730	12,999
返品調整引当金	19,311	11,959
賞与引当金	—	16,171
店舗閉鎖損失引当金	602	—
その他	134,740	101,039
流動負債合計	656,818	773,552
固定負債		
退職給付引当金	126,436	132,307
役員退職慰労引当金	48,721	55,274
その他	38,087	28,922
固定負債合計	213,244	216,505
負債合計	870,063	990,057

（単位：千円）

	前事業年度 （平成23年11月30日）	当第3四半期会計期間 （平成24年8月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,079,998	1,079,998
資本剰余金	3,861,448	3,861,448
利益剰余金	2,176,618	2,101,132
自己株式	△290,211	△290,211
株主資本合計	6,827,854	6,752,368
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△6,157	△4,697
評価・換算差額等合計	△6,157	△4,697
純資産合計	6,821,696	6,747,671
負債純資産合計	7,691,760	7,737,728

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成22年12月1日 至 平成23年8月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成23年12月1日 至 平成24年8月31日)
売上高	2,013,399	2,087,098
売上原価	1,028,803	1,098,409
売上総利益	984,596	988,689
返品調整引当金戻入額	18,069	19,311
返品調整引当金繰入額	11,737	11,959
差引売上総利益	990,928	996,041
販売費及び一般管理費	980,044	999,761
営業利益又は営業損失 (△)	10,884	△3,720
営業外収益		
受取利息	5,125	3,799
受取配当金	478	495
為替差益	1,615	2,567
その他	824	1,040
営業外収益合計	8,043	7,903
営業外費用		
支払利息	108	69
その他	50	81
営業外費用合計	158	151
経常利益	18,770	4,031
特別損失		
店舗閉鎖損失引当金繰入額	602	—
固定資産除却損	—	1,094
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	13,501	—
特別損失合計	14,104	1,094
税引前四半期純利益	4,665	2,936
法人税、住民税及び事業税	9,741	9,662
法人税等調整額	9,289	19,411
法人税等合計	19,030	29,074
四半期純損失 (△)	△14,365	△26,137

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期累計期間(自 平成22年12月1日 至 平成23年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	調整額	合計
	フィッシング 事業	アウトドア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	883,471	1,121,244	2,004,715	8,683	—	2,013,399
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	883,471	1,121,244	2,004,715	8,683	—	2,013,399
セグメント利益又は損失(△)	186,513	40,760	227,273	6,043	△222,432	10,884

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△222,432千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用の主なものは、提出会社の管理部門等の経費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第3四半期累計期間(自 平成23年12月1日 至 平成24年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	合計 (注) 3
	フィッシング 事業	アウトドア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	852,830	1,226,022	2,078,853	8,245	—	2,087,098
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	852,830	1,226,022	2,078,853	8,245	—	2,087,098
セグメント利益又は損失(△)	162,958	52,226	215,184	5,814	△224,719	△3,720

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△224,719千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に管理部門等の一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っています。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。